

7月30日 赤坂山

中田 繁男

山名	赤坂山		山行名	個人山行
ルート	マキノ高原→武奈の木平→栗柄越→赤坂山→栗柄越→寒風→マキノ高原			
山行日	2023年7月30日(日)		天候	晴れのち曇り
参加者	リーダー：中田繁男 サブリーダー：藪博美 山内温子、田中みちこ、原田直美、鳥山俊子 計6名			

ルート概略図 	コースタイム				
	地名	時：分	地名	時：分	
京田辺市	集	6:20	栗柄越	着	12:21
	発	6:28		発	12:27
JR京都駅	着	7:10	赤坂山 昼食	着	12:36
	発	7:24		発	13:15
マキノ高原	着	9:00	寒風	着	14:41
	発	9:45		発	14:51
登山口	着	9:53	マキノ高原 登山口	着	16:16
	発	9:56		発	
武奈の木平	着	11:18		着	
	発	11:20		発	

山行報告

初心者教室の第5期卒業生のTさんから、新入会した卒業生の参加出来る例会が夏場がないのでと相談を受けて赤坂山(824m)ならば可能と判断して、個人山行を決めました。近鉄、JR、湖国バスを乗り継いで片道約3時間でマキノ高原に到着。快晴の予報でしたから雨は心配ないのですが、酷暑が予想されます。開始前に初心者教室の修了生には水の準備を充分お願いしてスタートした。登山口からいきなりの急な階段が続きまだ体が慣れない状態で汗が止まらない。汗・汗・暑さと慣れない疲労で2人の息が早く早々に休憩を繰り返してコースタイムが遅れ始めた。武奈の木平から樹林帯が切れ始めた草原の栗柄越からは、赤坂山の道が見え山頂に若いハイカーが休憩している。蒸し暑い登山道が続きましたが流石山頂部は爽やかな涼風が心地よく、眺望は(琵琶湖、伊吹山、比良山、若狭湾)が一望、頑張っ来てよかったね! 山頂付近で昼食してから、高島トレイルの寒風経由で下山予定。栗柄越から心地よい稜線歩きと説明して小さいピークが10回もあることを忘れてしまい、暑さと疲労でバテ始めたがYさんだけは顔色も変えず笑顔でSLを務めている。登山口で言われた花々は終わりアブとハチが飛び交う苦しい下山コースになってしまった。暑さで持参の水も危うい中下山後のカキ氷を目標に歩いて高原に着いた時が予定コースタイム約30分越えでした。お疲れ様でした。

初心者教室の修了生が猛暑を耐えて脱落者なく登り切ったことが素晴らしいです。今後の山友会員として活躍して頂けるでしょう。10月の秋の例会に皆さんは再度参加予定です。

ヒヤリハット
なし

酷暑の中の登山は大変過酷でした。途中でアブに刺されてどうなるか心配でしたが、問題なく足も動きました。途中でバテてしまうこともあり皆さんの足を止めながらなんとか下山まで行けました。日頃の体力作りや管理をやらないといけないと思いました。下山後の「カキ氷」は最高でした！！

藪 博美

さすがに7月末の赤坂山はとても暑かったです。猛暑の中、みんなで励ましあって、全員で頂上に辿り着き、頂上からの眺めを堪能し、無事に下山できて、本当にうれしかったです！

山道沿いに、花が終わってしまったコアジサイやイワカガミが、元気に葉を繁らせていました。花の百名山ということですので、次回はお花がたくさん咲いている時期に登りたいと思います。

